

# 双松会会報

第三号(「双松」通巻10号・「松高北高同窓会報」通巻第12号)

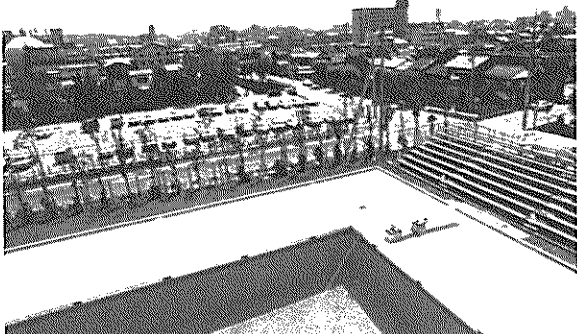
発行 松江市奥谷町164  
島根県立松江北高等学校内 双松会事務局 TEL ④4888・⑤3633  
印刷 有限会社 高浜印刷所 TEL ④3000



双松の下に同窓会館を見る  
(起雲館)

## 川津校舎跡様変わり

島根国体の開催が、いよいよ、あとほんの数週を残すだけとなり、準備も仕上げの段階を迎えている。川津校舎跡地は、矢の原の主会場に次ぐ設備が設けられて、夏季大会用のプールと、総合体育館が建てられて、その趣きを一新した。



秋季大会は十月三日から始まる。石の写真は、飛込み用プールの高飛

四月本校への辞令をうけた後、就任の挨拶回りを行いました。その折頂戴した激励のお言葉の中に「松を大事にしなさいよ。先輩がやかましいからね」と微笑ももったご注意がありました。北高には由緒のある二本松、御手植の松をはじめ、姿形の美しい赤松黒松が実に沢山あります。そのことはかねがね承知していましたが、先輩と松の結びつきがこれほどまでに密接だとは知りませんでした。

## 松に思う

校長 三浦 富登

写真中央部で向い合っている乗用車の間の右端のあたりが、正門の跡。写真右の観覧席、激励のたれ幕の左端のあたりが、生徒専用門ということになるか。中央を横に走る道路は、左へ行けば約五十メートル先で、南北に走る「国体道路」上乃木・菅田線に交わる。

「雨降り校長」どころか「松食い校長」との汚名を北高の歴史に永くとどめることになりませぬ。何はともあれ、手は尽さねばなるまいと考え、早速松の管理について事務室に指示しました。職員の方も心得たもので、剪定、消毒、施肥など、生徒や職員で手当することと専門家に依頼して措置することをきちんと区別し、春と秋の管理計画を立てていました。あとは金の工面ですが、幸い県の方も温い理解を示して頂き、また双松会のご援助もあって都合をつけることができました。

## 市内に普通高新設 開校に急ピッチ

いわゆる「丙午後」(米年度)入学から、生徒急増に対処するために、かねてから求められていた、市内の三つ目の県立普通高校がいよいよ明年度から開校されることになって、作業、工事が急ピッチで進められている。

昨年度の子算をいただいて、四十間堀川等の応急的改修の出来たことは、国が家予算にのりつけの卒業生諸君の御好意の賜として厚く御礼を申し上げます。そこから果立ってゆく若い卒業生諸君が、健康な思想と肉体をもって、社会のために盡される日を心から祈りたい。

昭和五十八年度は第一学年八学級相当の生徒を募集してスタートし、昭和六十一年三月に最初の卒業生を出すことになる。

## いのいののいとなど

会長 柴田 午郎

今年五十年に一度しか巡って来ない国体が本県で開かれる年である。われわれにとっても大切な年だが、まして母校の先生、生徒達にとつては、ジツとして居られない程の意義深い年にあたっている訳である。

秋の蔓延は、目を覆いたくなるものがある。心配になるのは二本松の健康だ。今のところ元気はよろしいようだが油断はならぬ。当局者のためめ警戒をお願いしたい。

赤山西側の大グラウンドの完成が、相当先になるのはやむを得ぬとしても、

この新しい高校の開校に伴い、松江南高と本校は、今年度まで各年度それぞれ十学級相当数を募集してきたが、来年度からは二学級を減じて、八学級相当の募集になることが予定されている。

中学生から見れば、都合四学級(約百八十人)の定員増となり、大きな光明と言えようか。

## 松くい虫

くにびき国体開催の年。県民あげてその成功のために頑張っている。本校から三十名の生徒が選手として、松舞台で活躍する。また、延六百の生徒が競技や式典の補助員などとして運営の裏方を務める。それぞれの立場での健闘を祈りたい。

虎視眈眈と赤山を窺っている。山守りの責任はますます重大。薬剤散布と栄養補給は片時も忘れることはできない。▼受験関係の会社の調査によると、今年春の国立大学合格者は、昨年と同様、中国地方の公立高校では第一、バドミントン、庭球、柔道、陸上、水泳の各部が全国高校総体に出場、文化部では放送、美術部が全国大会に出場。▼松中・松高の伝統を継承し、学業と部活動の両立を見事に堅持している。

初めまして。双松さん。

昭和40年卒 村田 真理子(旧姓広河原)

私は十六期卒業生でございます。十六年ぶりに家族で松江を旅することに...

双松さん、はじめまして。こんにちわ。私は昭和四十年の春に卒業と同時に...

寄稿

「双松」が送られてきて、寄稿を察している様なので雑文でも書いてみよう...

私と北高のかかりは古く、それは昭和二十年頃からです。その頃は松高でも北高でもなく、松江中学でした。

私の母は恩師のからいで、赤山の近くにあった松江中学の寮の寮母をしていました。...

そのうち、水の便の悪い赤山の校舎は火災に会い焼けてしまった。そのあとには新制松江高等学校として西川津町に移転しました。

松中・松高・北高と私

昭和36年卒 内田 誠

たレンガ積みの正門の名残りに、涙の出る思いで、これが残っていてよかったですと記念写真を撮りました。...

役員会報告

今年度の役員会は、常任監事約七十名の内、五十余名の出席を得て、五月二十一日に一文字家ホテルで開かれた。

昭和五十六年度 会務報告

一、会議等 56・6・2 役員会(一文字家ホテルにて)

- 9・13 近畿松高北高同窓会(ホテル阪神にて)
11・14 東京双松会(有楽町「日本クラブ」にて)
11・16 近畿双松会(梅田「多幸梅」にて)
57・2・11 米子双松会(米子ホテルにて)
2・20 近畿双松会の合併について
56・8 昭和56年度会報発行
7 名簿販売について依頼(北高在校生保護者)
11 名簿頒布方依頼(66期)20期対象)

昭和56年度 双松会会計決算書

収入総額 3,673,973円 支出総額 3,227,567円 純利益 446,406円

Table with columns: 科目, 予算, 実績, 増減, 説明. Rows include 収入, 支出, 繰越金, etc.

昭和57年度 双松会会計予算案

収入 支出

Table with columns: 科目, 予算, 実績, 増減, 説明. Rows include 収入, 支出, etc.

現在、兵庫県星陵高等学校でバスケットボール部の顧問をしています。

「合宿場所を探してほしい」といわれ、北高の河原先生に無理をいって、練習をさせていたいただきました。...

百年史補遺(二)

漕艇部(その一)

△昭和二十二年 第二回団体で戦前の仇敵濫買の長浜農業を破り、全国第二位となり、漕艇部復活は幸先よいスタートとなった。

△昭和二十四年は新制高校発足により松江一高と改名したが、前年の選手を中心とした大型クルーで、体力、漕法、経験ともに秀れた全国最強クルーとなった。

△昭和五十六年度 会報発行 7 名簿販売について依頼(北高在校生保護者) 11 名簿頒布方依頼(66期)20期対象)

# 赤山健児健在!

## 体総 男子バドミントン完全制覇 全国総体へ堂々二十五名

今年の県高校総体は、前期が六月四日〜六日、後期が六月十一日〜十三日の期間、県下各地で開催されました。ちよとど団体開催年であり、団体参加選手の有無やチーム編成の問題等もあって、例年行われてきた学校ごとの総得点による順位づけはなされませんでした。

しかし、平素の練習成果と指導者の熱意が実って、各部とも好試合が目立ち、鹿児島県で行われる全国高校総体に、昨年度を大幅に越える二十五名もの選手を送ることにしました。主な成績を次に紹介します。

- 水泳部**
- 男子総合 優勝
  - 女子総合 四位
  - 男子一〇〇M自由形 二位 勝部祐輔
  - 男子二〇〇M自由形 一位 勝部祐輔
  - 男子四〇〇M自由形 三位 口羽正彦
  - 男子一〇〇M平泳ぎ 一位 三上信哉
  - 男子二〇〇M平泳ぎ (大会新) 三位 三上信哉
  - 男子一〇〇M背泳ぎ 三位 竹部敦司
  - 男子二〇〇M背泳ぎ 三位 竹部敦司
  - 男子二〇〇M個人メドレ 二位 西原和也
  - 男子四〇〇M個人メドレ (大会新) 二位 西原和也
  - 男子四〇〇Mリレー 一位 三上、西原
  - 男子八〇〇Mリレー (大会新) 一位 竹部、口羽
  - 男子四〇〇Mメドレーリレー 一位 竹部、三上
  - 女子一〇〇M平泳ぎ (大会新) 二位 岡本、すえ
  - 女子二〇〇M平泳ぎ (大会新) 一位 岡本、すえ

- 男子バドミントン部**
- 男子団体 優勝
  - 男子ダブルス 優勝 竹内・吉仲
  - 男子シングルス 優勝 竹内 亨
  - 男子個人ダブルス 二位 吉仲 真
  - 男子個人シングルス 三位 中井・向井
  - 男子団体 三位
  - 男子ダブルス 一位 黒木裕史
  - 男子シングルス 一位 黒木・太田
  - 男子団体 三位
  - 男子ダブルス 三位 松本栄治
  - 男子シングルス 三位 松本栄治

- 男子バドミントン部**
- 男子団体 優勝
  - 男子ダブルス 優勝 竹内・吉仲
  - 男子シングルス 優勝 竹内 亨
  - 男子個人ダブルス 二位 吉仲 真
  - 男子個人シングルス 三位 中井・向井
  - 男子団体 三位
  - 男子ダブルス 一位 黒木裕史
  - 男子シングルス 一位 黒木・太田
  - 男子団体 三位
  - 男子ダブルス 三位 松本栄治
  - 男子シングルス 三位 松本栄治

第三十五回朝日レガッタが去る五月、琵琶湖で行われ、本校ボート部はこれに出場、輝かしい戦果をおさめました。シエルフォア、ナックルフォア及びシングルスカルのいずれも好成績で予選を通過しましたが、決勝レースのとき、晴天であるにもかかわらず、波が高く、シエルフォアとシングルスカルの予選タイムは一位はレースが取りやめとなりました。上位入賞を目前にしての中止は無念の極みでした。結果は次のとおりです。

男子ナックルフォア 決勝二位  
女子ナックルフォア 決勝四位  
男子ナックルフォア 決勝四位  
女子ナックルフォア 決勝四位

	54年3月			55年3月			56年3月			57年3月		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
国立大	162	39	201	188	62	250	157	45	202	185	50	235
公立大	11	1	12	7	6	13	8	4	12	7	6	13
私立大	233	170	403	263	183	446	207	173	380	215	145	360
短大	94	4	98	100	11	111	120	4	124	87	7	94
その他	46	3	49	44	3	47	38		38	35	1	36
合計	546	217	763	602	265	867	534	224	758	529	209	738

今年卒業生の進路状況は別表の通りです。全体として立派な成績を上げてくれました。国立大学のみの合格者は二二五名で、中国五県の公立高校では最も多数でした。なかでも京都大学に十三名、神戸大学に十一名、広島大学に十三名の合格者がでたことは近年にない見事なことでした。また難関といわれる国立大学医学部にも十八名が合格して進学しました。一方私立大学、短大は共通一次試験の実施にともなう国公立大との併願が急に減り、実質的な受験校数が相当数減少しましたが、有名私立大の早稲田・慶応・上智大学等ではいずれも合格者が増え、全体としても若干増加しました。近年私大、短

今年国体が本県で行われる影響で恒例の学園祭開催を取り止めて、代りに、春の体育会、秋の文化部発表会と二つを計画し、各一日を当てて行うことになりました。春の体育会は五月十日、盛會裡に終了しました。秋の文化部発表会は十一月五日(日)を期日として、現在、各部では計画と準備に取り組んでいます。体育会と同様、この文化部発表会も「お祭り」という性格ではなくて、平素の北高生のまじめな日常活動の積みあげを、全校の生徒友人に紹介し、広く理解を得ようとするものです。次に各部予定の内容を示します。ご高覧ください。

### 快拳

#### 朝日レガッタ

#### ボート部

#### 中国高校

#### 水泳部

### 京大・神大・広大合格者大幅にふえる

#### 国立大医学部に十八名

#### 今春の進路状況

### 春…体育会

### 秋…文化部発表会

### 全国大会出場

### 通信制野球部

### 放送部・美術部

### 全国大会へ

